

参考資料

2009年度第1四半期 業績の概要 (ソニー銀行単体)

2009年8月11日
ソニー銀行株式会社

損益の状況(1)

- 経常利益は、その他業務収支の減少により業務粗利益が減少したことや、システム関連費用を中心とした営業経費の増加により、前年同期比61.6%減少の4億円。
- 業務粗利益は、資金運用収支、役務取引等収支が増加したものの、その他業務収支の減少により、前年同期比8.8%減少の32億円。
(※なお、社内管理ベースによる基礎的な収益は、「コアベース業務粗利益」「コアベース業務純益」いずれも前年同期比増加。)

■財務会計

	2008年度 1Q	2009年度 1Q	前年同期比	
業務粗利益 ①	36	32	▲3	▲8.8%
資金運用収支	10	32	+21	+197.6%
役務取引等収支	0	0.3	+0.3	+468.4%
その他業務収支	25	▲0.1	▲25	▲100.7%
営業経費	23	27	+4	+17.2%
経常利益	12	4	▲7	▲61.6%
四半期純利益	7	2	▲4	▲62.7%
業務純益 ②	12	5	▲7	▲56.5%

■社内管理ベース(ご参考)

単位: 億円

	2008年度 1Q	2009年度 1Q	前年同期比	
業務粗利益	36	32	▲3	▲8.8%
資金収支*1	27	33	+5	+21.3%
手数料等収支*2	2	3	+1	+46.3%
その他収支*3 ③	5	▲4	▲10	▲180.4%
コアベース業務粗利益*4 ①-③	30	37	+7	+23.4%
コアベース業務純益*5 ②-③	7	10	+3	+43.6%

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

●社内管理ベース…損益の実態をより適切に表すよう、財務会計に以下の調整を加えたもの。

- *1 資金収支…資金運用収支+その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)
- *2 手数料等収支…役務取引等収支+その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益
- *3 その他収支…その他業務収支より*1と*2を控除したもの。主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益。

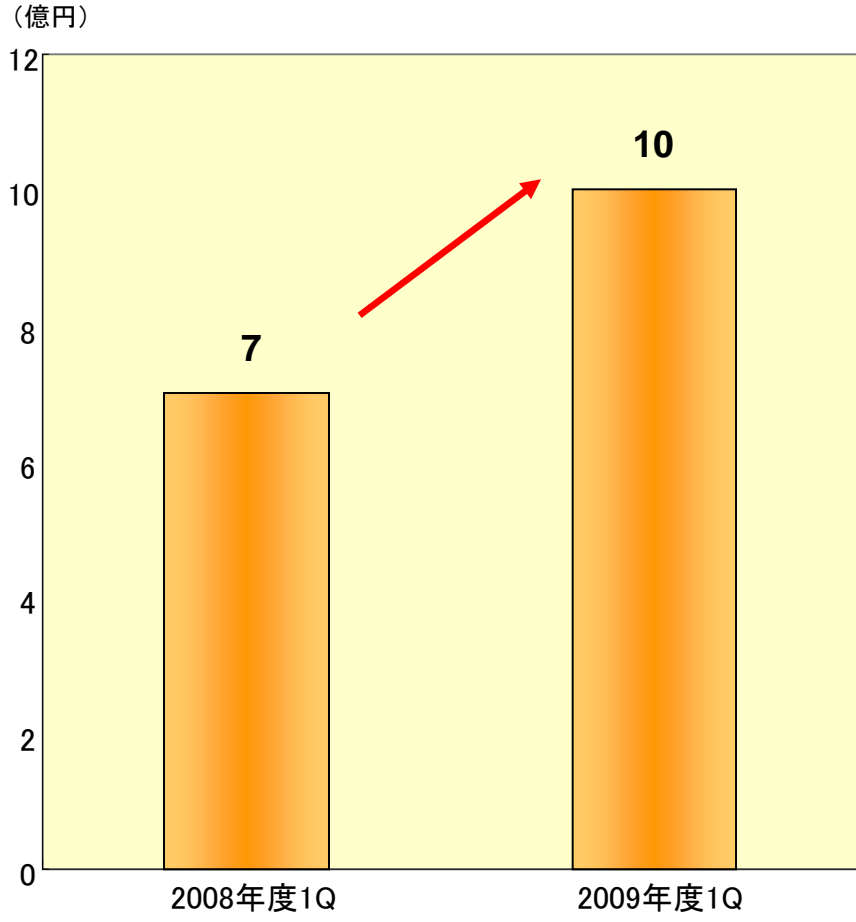
●コアベース…その他収支(主に債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、当社の基礎的な収益を表すもの。

- *4 コアベース業務粗利益…業務粗利益-その他収支
- *5 コアベース業務純益…業務純益-その他収支

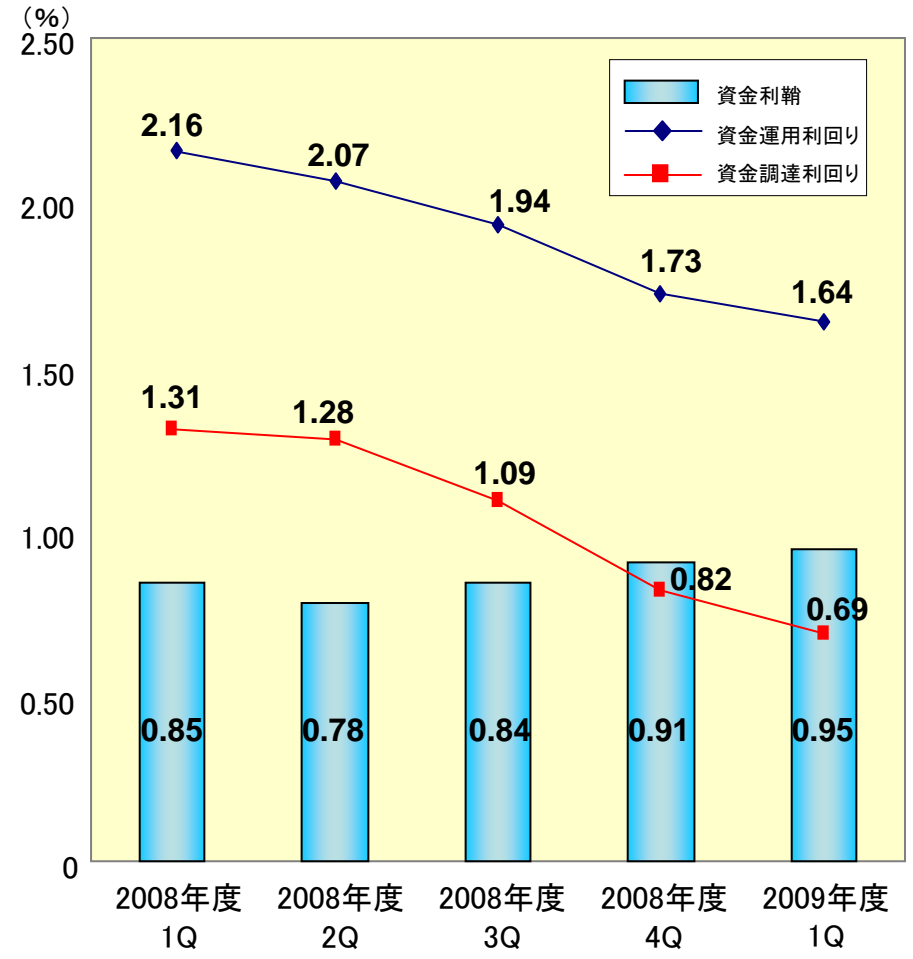
損益の状況(2)

■ 社内管理ベース(ご参考)

【コアベース業務純益】

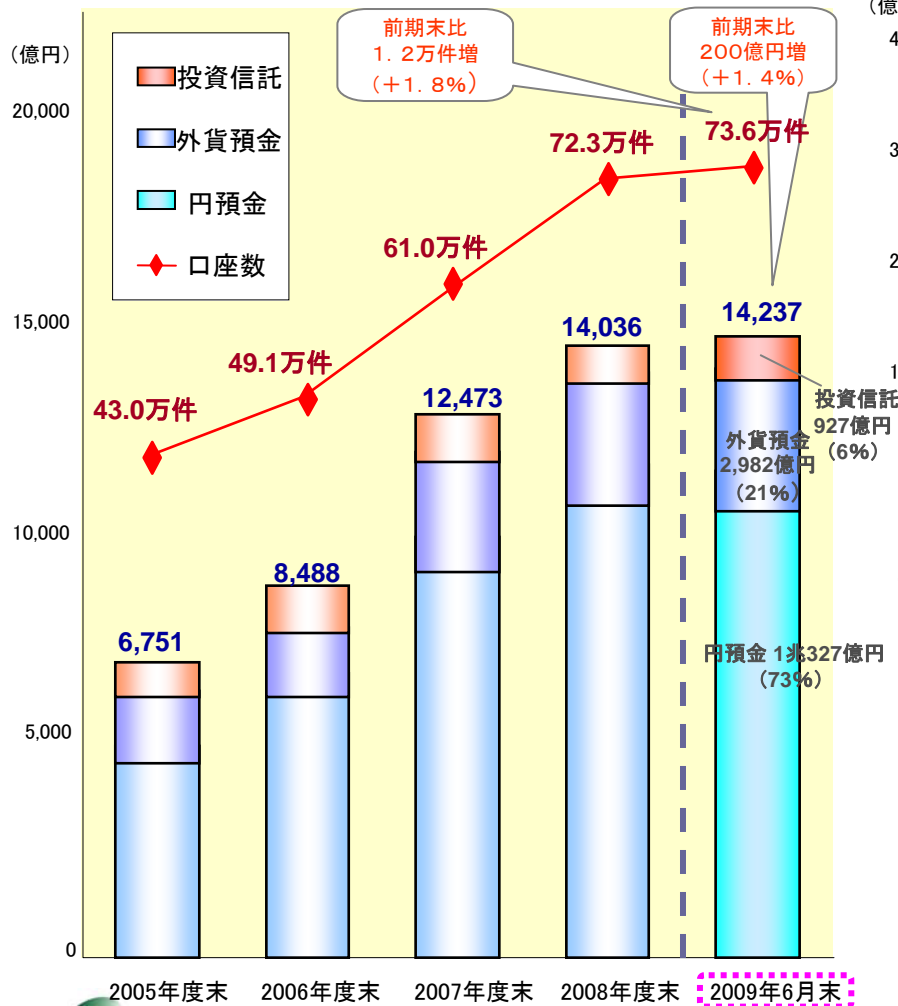


【資金利鞘の推移】

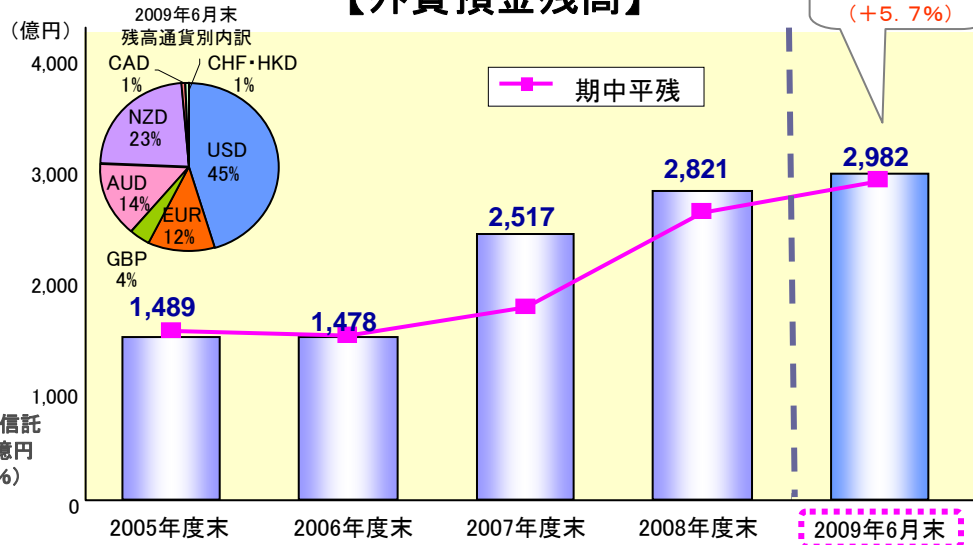


預かり資産残高

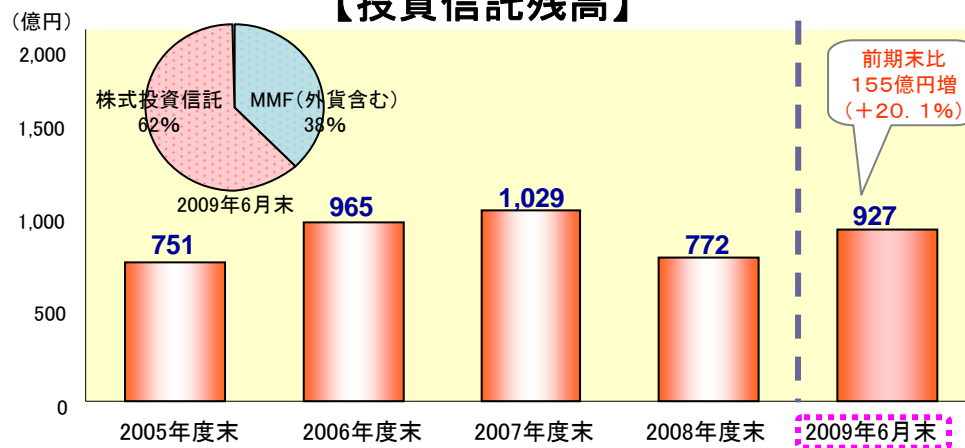
【預かり資産残高および口座数】



【外貨預金残高】

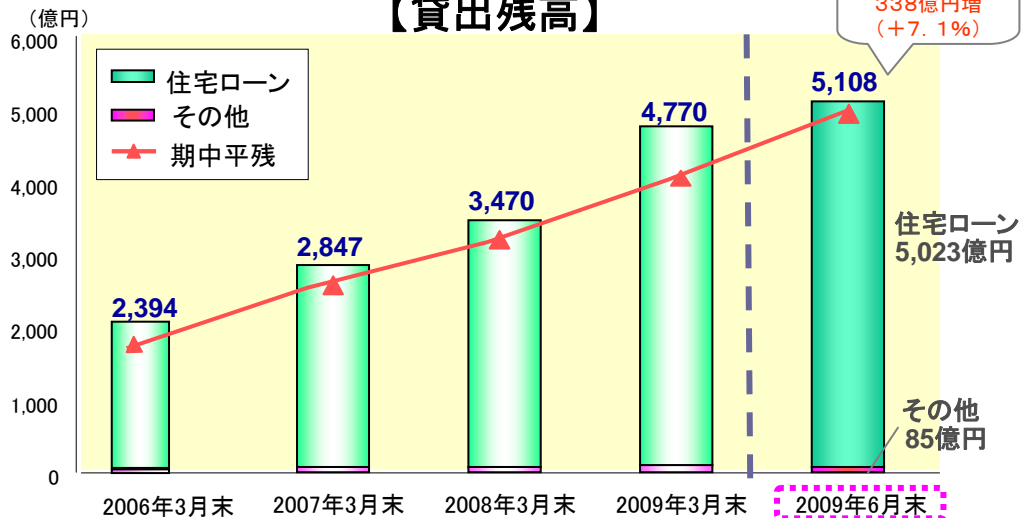


【投資信託残高】

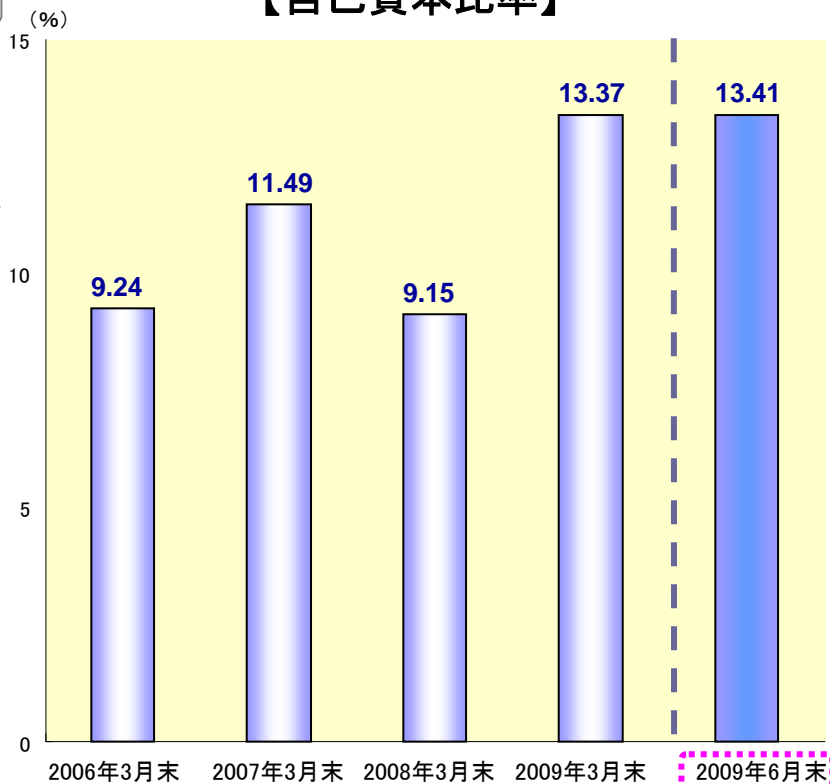


運用資産残高・自己資本比率

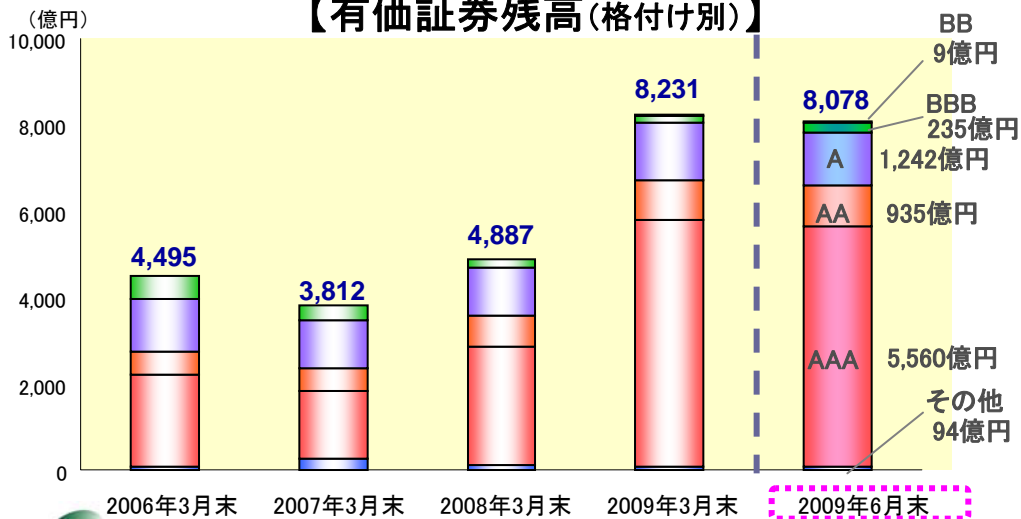
【貸出残高】



【自己資本比率】



【有価証券残高(格付け別)】



※「単体自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」(平成18年金融庁告示第19号)に基づき算出しております。なお、平成21年3月期第3四半期より「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準の特例(平成20年金融庁告示第79号)」を適用しております。また、平成18年3月期は旧基準により算出しております。

2009年度第1四半期の主な取り組み

◇ 円預金・外貨預金

- 夏の特別企画実施【6月】
 - ・円定期・積み立て定期特別金利
 - ・円定期でソニー製品プレゼント
 - ・積み立て定期でリラックスなひとときプレゼント
 - ・外貨にチャレンジ！外貨ご購入で100米ドルプレゼント

◇ 住宅ローン

- パナホーム株式会社との提携住宅ローン開始【4月】

◇ ソニーバンク証券との金融商品仲介サービス

- 夏の特別企画実施【6月】
 - ・ETF(上場投資信託)ご購入手数料全額キャッシュバック
- <<ご参考>> 2009年6月末のソニーバンク証券の口座数・預かり資産残高
 - ・口座数 30,773 件
 - ・預かり資産残高 14,383 百万円

◇ サービス他

- ソニー生命保険株式会社との保険料口座振替を開始【4月】